

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長		江口 達也
市民-35 体育施設整備事業		☒ 自治事務	主管課	スポーツ課	
		☐ 法定受託事務	関連課		
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	多様なニーズに対応できる施設整備を進め、スポーツを身近なものにしているため。
効果	スポーツ施設の整備を行う。

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・関係団体、関係機関等との協議を進め、スポーツ施設整備の推進を図った。
- ・山崎浄化センター建物上部利用について、スポーツ施設整備に向けた準備を進めた。
- ・スポーツ施設を建設するための基金を運用した。
- ・寄附金を基金に積み立てた。

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	17,689人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営 資源状 況	決算値(千円)	233	275	当初予算(千円)	24,232	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他	233	275	その他	2,023	
	一般財源	0	0	一般財源	22,209	
	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	1.0	
	人 件 費(千円)	755	770	人 件 費(千円)	7,793	
事業 経費運 営	総事業費(千円)	988	1,045	総事業費(千円)	32,025	
	市民1人当りの 経費(円)	6	6	市民1人当りの 経費(円)	1,810	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある			
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない			
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある		
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない		
			協働実施済の場合のパートナー		
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
	☒ b: 事業内容は現状通りとする				
事業内容の方向性	☐ c: 事業を休止又は廃止する				
	☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	(現状維持)スポーツ施設を整備していくために予算規模は現状維持とする。		
	☒ B: 予算規模は現状維持とする				
予算規模の方向性	☐ C: 予算規模を縮小する				
総評(評価に対する考え方、根拠等)	スポーツ施設建設基金の運用を継続する。 総合体育館とグラウンドの整備を深沢地域整備事業の中に位置付けられるよう関係課と協議するとともに、他のスポーツ施設の適地に係る情報収集等を引き続き継続して行う。 総合体育館の整備について、鎌倉市公共施設再編計画を踏まえた検討を行う。 既存公共施設の上部利用や民間活力の導入など、幅広い視野で本市の実情に適した手法を検討する。 山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備について基本設計を実施していく。				

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	- 総合体育館及びグラウンド建設に向けた整備費用と整備用地の確保。 - 山崎浄化センター建物上部におけるスポーツ施設整備に向けた検討。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	- 施設建設に必要な整備費用の確保に向け、スポーツ施設建設基金の運用を行った。 - スポーツ施設の整備を推進するためスポーツ施設建設基金として鎌倉市ふるさと寄附金の協力を御願いした。 - 民間施設の開放についての近隣企業との調整等を行い、企業グラウンド(2か所)を引き続き借用している。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	- 山崎ごみ処理施設建設の進捗状況を踏まえ、環境部と連携し、住民、スポーツ団体、学識経験者等を委員とする検討委員会を設置し、整備内容の検討を行ない、検討業務(基本設計)に反映する。 - 西御門テニスコートのクラブハウス耐震診断の結果を受け、仮設トイレ等の設置による継続的な運用。 - 近隣企業が所有するグラウンドの借用について協議を引き続き行っていく。また、情報収集に努める。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	スポーツ建設基金寄附積立金実施状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	×	×	×	×	×	×	×
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	スポーツ施設建設基金への積み立ては、スポーツ振興を図るためのスポーツ施設整備に必要であり今後も着実に取り組んでいく。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スポーツ建設基金寄附積立金					単位	円	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
寄附金を基金に積み立てる	目標値	100,000	100,000	1,754,000						
	実績値	3,051	269,236							
	達成率	3.1%	269.2%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	スポーツ施設建設基金への積み立ては、スポーツ振興を図るためのスポーツ施設整備に必要であり今後も着実に取り組んでいく。									

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---